

## 安澤東宏著「大射道」

本書に触れるには、近くの公立図書館でリクエストすることにより、国会図書館から貸出されることが可能である。また、web 情報から復刻版の販売を確認できる。

「大射道」安沢東宏（平次郎）十段 著 復刻版 阿波研造門下として研学した七十余年の射業の集大成である。弓道論と習射論に分かれ、弓道論では射とは何ぞ、日本弓道の特殊性等の本質論を語り、習射論では具体的に技術論を語る。また末尾には同門の兄弟弟子であったオイゲン・ヘリゲル博士のベルリンでの弓道の講演が掲載。安沢範士を師と仰ぐ国立弓道場「修倫庵」北島芳雄会長が、安沢範士の33 回忌を記念し、昭和 45 年刊の同書を再出版した。A5 版 上製箱入り総頁 253 頁定価 3800 円（送料 340 円）合計 4140 円「武道通信」発行の杉山頼男事務所へお申し込みください（メール、電話、FAX にて） Tel. 042-580-6428 Fax. 042-580-6438 また直接、下記三つの方法でご注文くださっても結構です。

★郵便振替 00120＝1＝69065 有限会社 杉山頼男事務所〒186-0082 東京都国立市東3-4-8

★銀行振込三和銀行 国立支店（512） 普通3765873 有限会社 杉山頼男事務所 代表取締役 杉山頼男  
（銀行振込の場合のみ、メールか電話でご一報ください）★現金書留

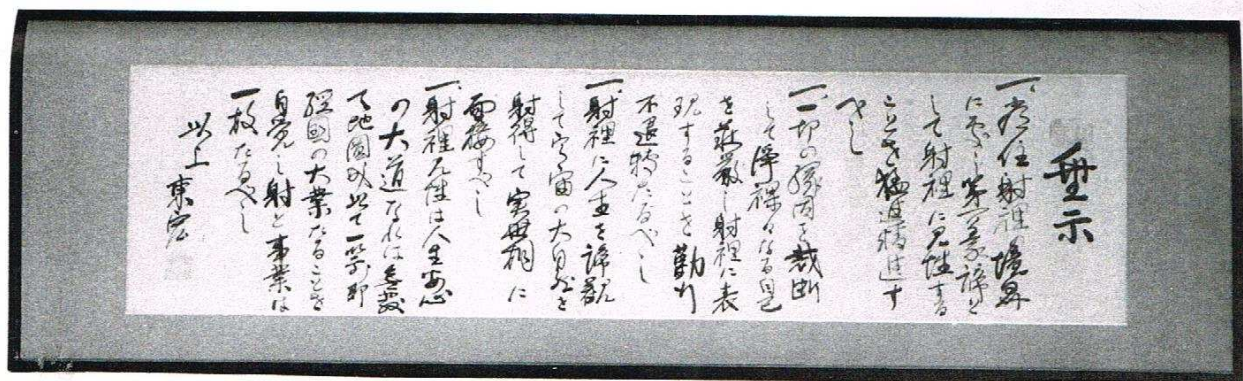
以下は、「大射道」の表紙裏の数葉の写真とともに目次部分を抜粋したものである。



念願だったヘリゲル博士の墓参を果たした先生



安沢範士とヘリゲル夫人。昭和44年9月5日、オイゲン・ヘリゲル博士の墓参の際



## 垂示

一、常住射裡の境界  
に處し第一義諦と  
して射裡に見性する  
ことを猛進精進す  
べし  
一、一切の縁因を裁斷  
して淨裸なる自己  
を莊嚴し射裡に表  
現すること勤行  
不退轉たるべし  
一、射裡に人生を諦觀  
して宇宙の大自然を  
射得して實世相に  
面接すべし  
一、射裡見性は人生安心  
の大道なれば無發  
天地圓成以て一箭即  
經國の大業なることを  
自覺し射と事業は  
一枚たるべし  
以上 東宏

## 垂示

一、常住射裡の境界  
に處し第一義諦と  
して射裡に見性する  
ことを猛進精進す  
べし  
一、一切の縁因を裁斷  
して淨裸なる自己  
を莊嚴し射裡に表  
現すること勤行  
不退轉たるべし  
一、射裡に人生を諦觀  
して宇宙の大自然を  
射得して實世相に  
面接すべし  
一、射裡見性は人生安心  
の大道なれば無發  
天地圓成以て一箭即  
經國の大業なることを  
自覺し射と事業は  
一枚たるべし  
以上 東宏

上の扁額は、以下のように読める。(上の扁額の書写には誤りが散見される)

### 垂示

- 一、常住射裡の境界  
に處し第一義諦と  
して射裡に見性する  
ことを猛進精進す  
べし
- 一、一切の縁因を裁斷  
して淨裸なる自己  
を莊嚴し射裡に表  
現することを勤行  
不退轉たるべし
- 一、射裡に人生を諦觀  
して宇宙の大自然を  
射得して實世相に  
面接すべし
- 一、射裡見性は人生安心  
の大道なれば無發  
天地圓成以て一箭即  
經國の大業たることを  
自覺し射と事業は  
一枚たるべし

垂示、教えを説くこと

常住、悟りの世界の永遠性  
射裡、射の状態にあること  
第一義諦、究極の真理  
見性、けんしょう、自己の  
本来の心性を見極めること  
精進、ひたすら仏道修行に  
励むこと

勤行、勤めて仏道修行をする  
不退轉、志をかたく保持して  
屈しないこと  
諦觀、明らかに真理を観察  
すること

大道、長い道のり

經國、国を治めること

東宏

以上



弓構え



安沢平次郎先生射形

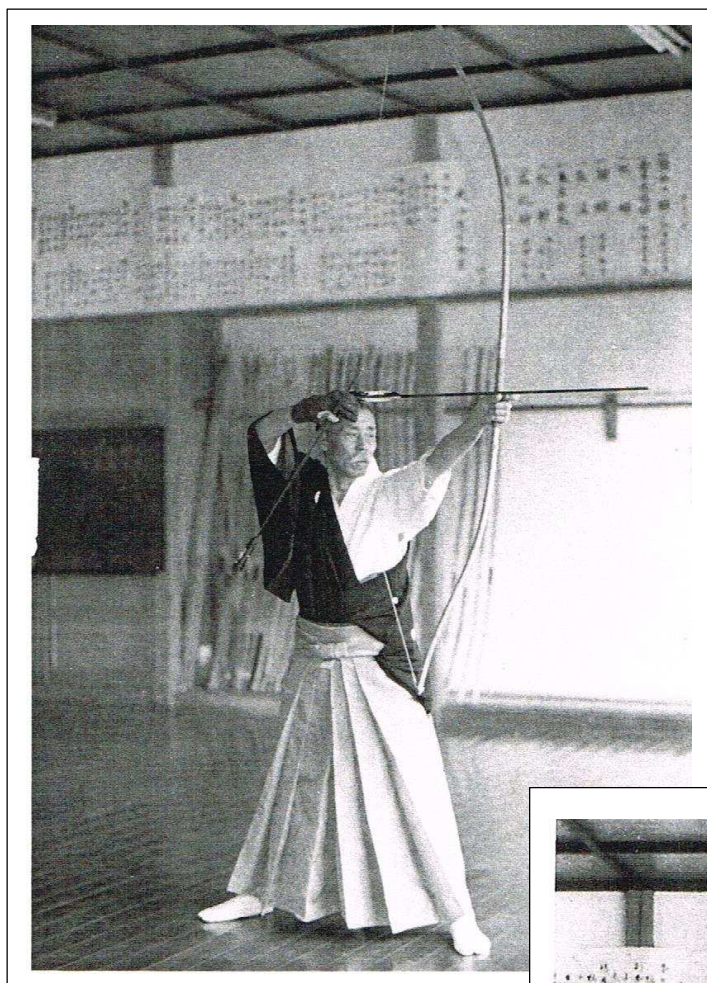
昭和38年ごろ、三鷹・寂光洞道場にて  
安沢範士十段昇格祝賀射会におけるもの

打起し





大三



会





残心



序	一
自序	三
はしがき	五
先生と私 (中野慶吉)	七
写真説明	八
弓道論	
射道精神	一七
射とは何ぞ 射の沿革 射の内容	
日本弓道の特殊性	二七
礼の尊重	三五
百発成功の射	四四
弓道の真相観と射の姿	五一
救世の射業	五九
理想の射とその絶対の境地	六六
弓道の惟神道は最高道徳	七三
射の哲学的意義	八七
厳正なる思想の重要性	九五
射行は個性の表現	九八
破邪の射教	一〇五
仁とは射の如し	一一七
射道の本質	一二二
弓道による修養と教育	一二八
正しき霊智の射	一三八
射道の指導方針	一四九
東宏射訓(一)	一五三
射の表現について	一五三
東宏射訓(二)	一六〇
射道精神拔萃	一六〇

弓道と禪	一七九
(オイゲン・ヘリゲル博士の霊前に詣でて)	
習射論	
射の実相	一八五
射相の美	一八五
会の運行	一八七
弓道十節解論	一九〇
一、足踏み(開き足)	一九〇
二、胴造り	一九〇
三、弓構え	一九一
(取り懸け・手の内・物見)	
四、打起し	一九二
五、大三	一九三
六、引分け(押分け)	一九三
七、会	一九四
八、離れ	一九七
九、残身(残心)	一九七
一〇、弓倒し	一九八
「オイゲン・ヘリゲル講演」 弓術に就いて	二〇一
著者略歴	二三九
「大射道」再出版について 北島芳雄	二四二